

【本日の話すこと】

① 自己紹介と結論

② 結論に至った理由

③ 試してほしいこと

④ 質疑応答

不登校ジャーナリスト

石井しこう（43歳）

13歳 中学2年生で不登校

19歳 NPO法人で取材

42歳 ジャーナリストに



当事者や識者 400人以上に取材



多くの仕事をもらいました





不登校の「ホンネ」を
誰よりも知る著者が、
今、悩んでいる
あなたに届けます！

不登校の自分は、
この先どうなるんだろう？

経験者だからわかる事がある。

あげくは半生が漫画化され...



『マンガで読む 学校に行きたくない君へ』

番組化もされ NHK「逆転人生」



ある結論が出ました



不登校には休みが必要

こんな人も同じ意見

石破首相「不登校の子供、学校を休むことも必要」 福岡厚労相
「親の介護休業取得も可能」

6/11(水) 7:00 配信 116



産経新聞



参院決算委員会で答弁する石破茂首相 = 9日 (春名中撮影)

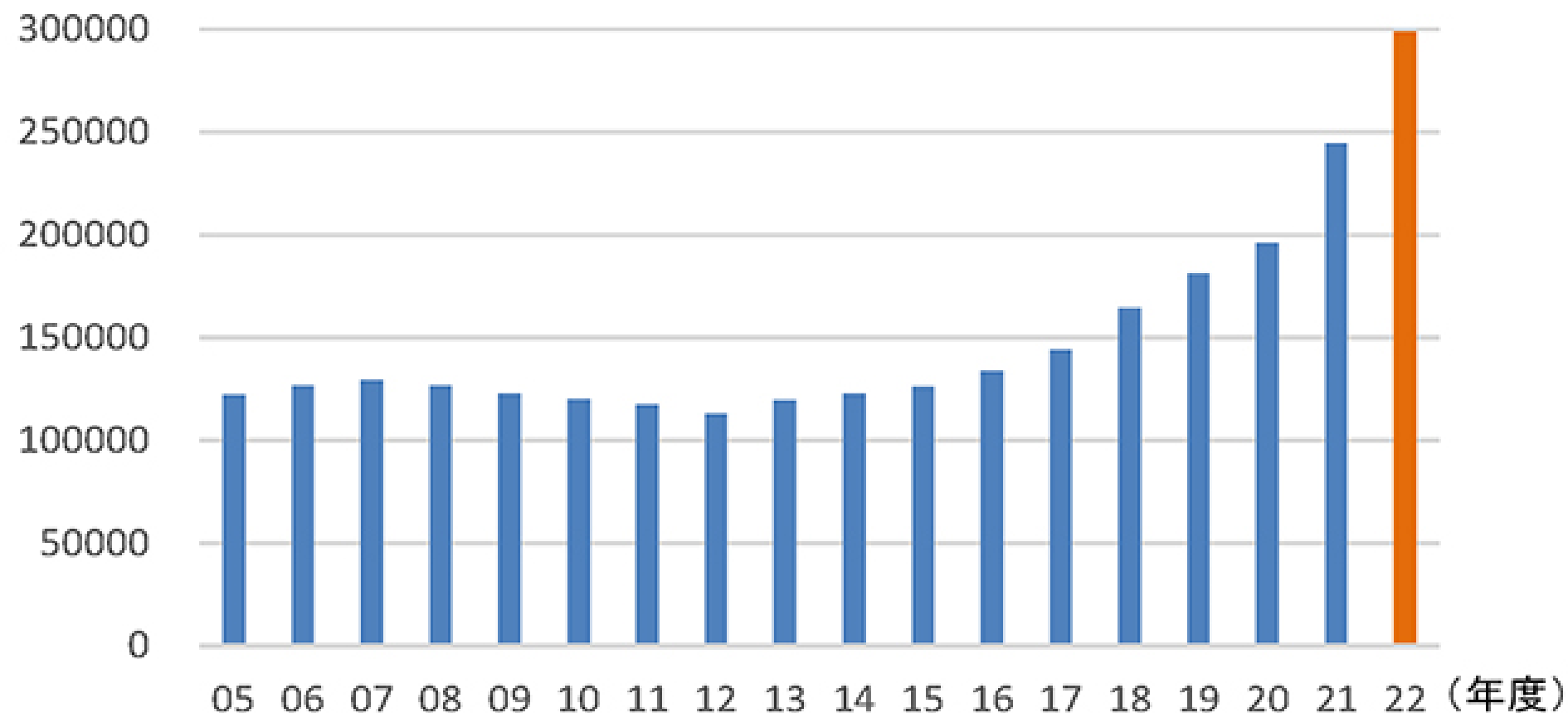
石破茂首相は9日の参院決算委員会で、不登校の児童生徒への対応として「学校を休むことも必要な場合がある」と述べ、無理に登校を促すのではなく個々の状況に合わせた支援が必要との認識を示した。共産党の吉良佳子氏への答弁。

首相は「100人不登校の子供がいれば100通りの事情があると思う。そういう子供にとにかく学校に行けとプレッシャーをかけると、事態の改善につながらないということは

【本日の話すこと】

- ① 自己紹介と結論
- ② 結論に至った理由
- ③ 試してほしいこと
- ④ 質疑応答

不登校は過去最多を更新



小中合わせて34万人に

「学校に行きたくない」と 言われた経験、ありますか？

はい 55%

いいえ 45%

文科省は不登校という選択を容認

不登校というだけで
「問題行動」と
判断してはならない

【総則編】 中学校学習指導要領 （※小中高は文言同様）

文科省は不登校という選択を容認

目指すのは
学校復帰だけでなく
最終的な「社会的自立」

【総則編】 中学校学習指導要領 （※小中高は文言同様）

不登校からの将来は？

高校進学率 **85.1%**

就業・就学率 **81.9%**

(20歳時点)

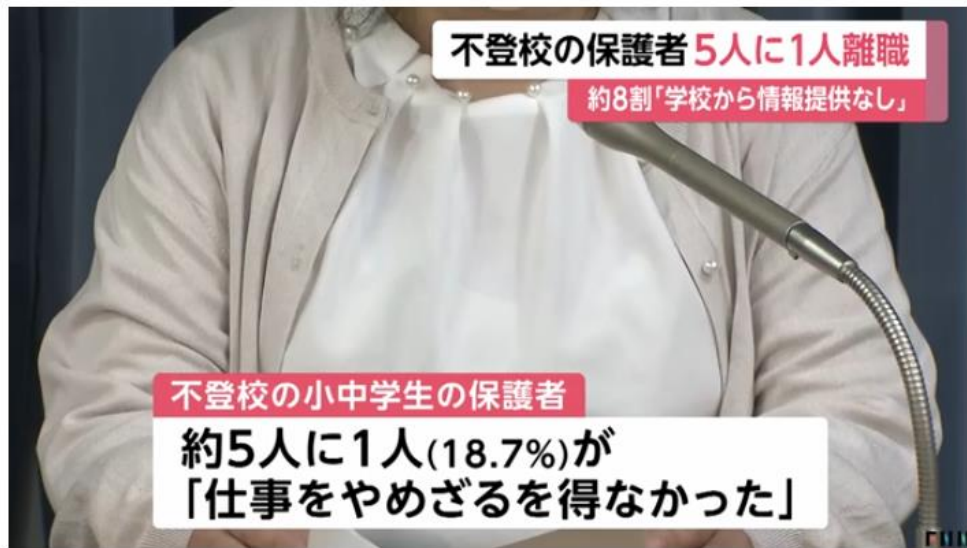
「不登校に関する実態調査」 (文科省)

でも当事者はたいへん
保護者の離職率は5人に1人

「仕事をやめざるを得なかった」子どもが不登校になった保護者の5人に1人が離職 学校からの情報提供不足も

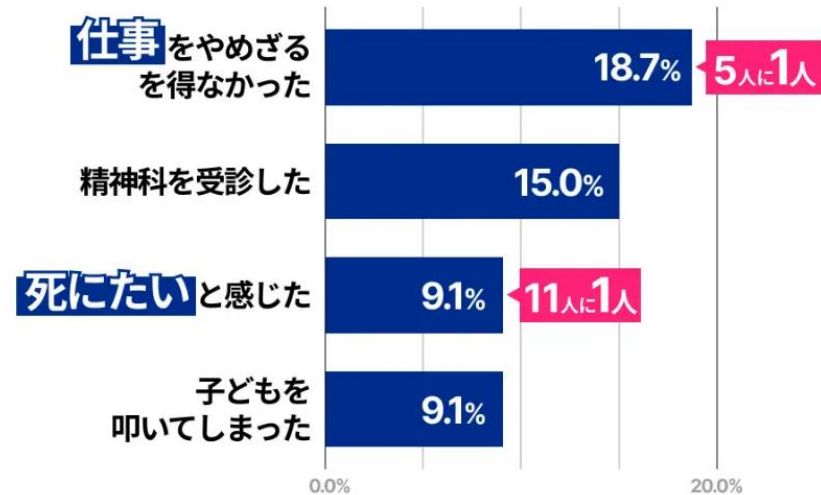
10/21(月) 12:02 配信  42     

FNNプライムオンライン



FNNプライムオンライン

子どもが不登校になって
約5人に1人が離職
約11人に1人が「死にたいと感じた」



2024年 1 0 月21日報道

SOZ●W スク-ル 小中等部

小中等部

**教員にも、保護者にも
知ってほしい情報
不登校3つのポイント**

不登校のポイント その①

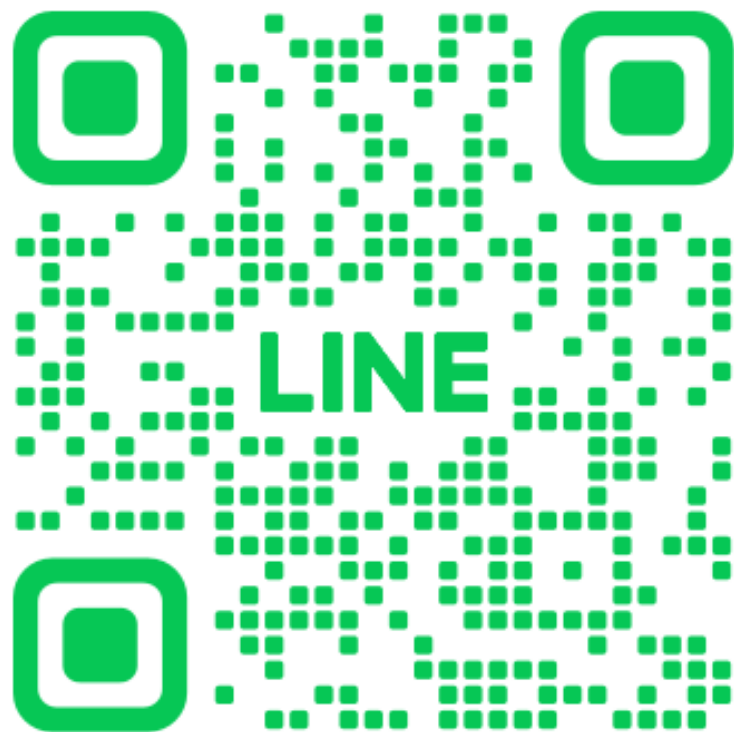
予防できないという覚悟

「地震」と置き換える

不登校のポイント その②

休ませる**基準**を持つこと

10万人登録のチェックリスト



不登校 親の相談先 (不登校新聞 石井志昂さん監修)

相談先	特徴	注意点	選び方
早く相談したいところ 児童精神科 (子どもメンタルクリニック)	<ul style="list-style-type: none"> 医学的な知見で危険な場合はドクターストップをかけてくれる 	<ul style="list-style-type: none"> 予約待ちがある 診断と処方のみで 教育環境の整備はできない 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを連れて行かず親のみでも相談可能かどうか 親自身の悩みも聞いてくれるところ なければ 心療内科・精神科でもOK
カウンセラー 経験者の話を聞くな...	<ul style="list-style-type: none"> 時間をかけて親の悩みや子どもの現状を聞いてくれ 不安な気持ちを整理することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 費用は平均30分5,000円で 長期にわたると経済的な負担になる ドクターストップはできない 	<ul style="list-style-type: none"> 30分5,000円が予算を大きく逸脱していないか 初回の面談で苦勞をそれとなく察してくれるか
親の会 子どもの居場所を探すなら...	<ul style="list-style-type: none"> オンラインでも開催されている 同じ悩みや経験のある仲間に出会い 日常の疑問や不安について共有や相談ができる 口コミで 学校以外の居場所や 今後の進路などの情報を得ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 専門家がおらず治療や処方は受けられない 会費がかかる場合もある 地域によっては開催が少ないこともある 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットで検索 オンラインでもつながれるかどうか 相談したい雰囲気かどうか フィーリングがあうかどうか
フリースクール	<ul style="list-style-type: none"> 不登校の事例を多く知るスタッフが対応 学校復帰を目的とせず心のケアを優先してくれる 子どもによっては“受け入れ先”にもなる 	<ul style="list-style-type: none"> 相談料は 無料～5,000円程度 相談時間が限られる場合もある まれに即座に学校復帰を促す施設もあり注意 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが「行きたい」と言ったら 子どもの気持ちに寄り添った運営かどうか 学校復帰をことさら強調しないかどうか
〈公的機関〉 教育支援センター ほかに...	<ul style="list-style-type: none"> 全国自治体の63%に設置 費用負担なし 子どもによっては“受け入れ先”にもなる (学校との情報連携をしてくれ出度よいになる場合も) 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校への理解が一定ではなく センターによっては 対応が大きく変わる スタッフによっては知識や経験が乏しい場合も 学校復帰を目的とする施設もある 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが「行きたい」と言ったら 「スタッフが子どもに定期的に学校復帰を促すか」を尋ね プレッシャーを子どもにかけない判断も 地域によってセンターの名称が異なる場合がある
スクール カウンセラー	<ul style="list-style-type: none"> 学校内でカウンセリングを進めたり 教育支援センターなど公的な情報を教えてくれる 学校(校長や教頭など)が紹介してくれる 費用負担なし 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの経験の違いによって対応に差がある 常駐していない学校もある 	<ul style="list-style-type: none"> 親自身が相談したい相手かどうか

教育相談センター(各自治体に設置)では公的な支援窓口を教えてください

相談先は小さくたくさんが新常識

『あさイチ - 「不登校」の相談先&チェックリスト』で検索

<https://www.nhk.jp/p/asaichi/ts/KV93JMQRY8/blog/bl/pmD0J4b58m/bp/papPVwLGYa/>

【本日の話すこと】

- ① 自己紹介と結論
- ② 結論に至った理由
- ③ 試してほしいこと
- ④ 質疑応答

不登校の子が目指したい姿

ひま。

理想
想像



心が回復するまでの地図

(心療内科医・明橋大二)

① 身体症状

対応 環境調整

② 感情の噴出

対応 付き合う

③ 言語化

対応 最後まで聞く

④ 自立・親離れ

【本日の話すこと】

- ① 自己紹介と結論
- ② 結論に至った理由
- ③ 試してほしいこと
- ④ 質疑応答

質疑用のオープンチャット



質問項目の例

- ・ ゲームへの疑問
- ・ 勉強の遅れ
- ・ 進路について
- ・ なるほど！ワード

不登校した人は30年後に...

ふつうのおじさんや
ふつうのおばさんになる



ありがとうございました